

1月定例記者会見事項書

平成28年1月4日（月）午後1時～
市役所2階 第3会議室

1. 市長からの発表

(1) 新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

今年はこれまで色々としてきたことを花開かせる年であると思います。今年の漢字として「開」（ひらく）を選びました。色々な課題を整理して、その上に花開かせる。伊賀市もしっかりと安心して生活できる地域づくりをしなければならないということで、市民の皆さんにも痛みを共有していただいています。しかし、今、実行しなければ未来に憂いを残すということになるので、そのようなことはしたくありません。しっかりと認識してやるべき事をやるのが今年となります。その先に明るい未来を感じていただけるようなことをしていきたいと思います。

地方創生、地域づくりのために若いひとに「来たい、住みたい、住み続けたい」伊賀市となるよう、しっかりとした経済基盤を作る必要があります。そのためには、企業誘致をして企業団地を作っていくので、1月1日付けで新しい部署を立ち上げました。早い段階で企業誘致を実現していきたいと考えています。

また、親子で楽しんで子育てしていただけるような場所を自然の中に作っていきたくと考えています。

色々やらなければならないことが沢山あります。そうしたことを開かせていくのが今年であると思っています。

(2) 伊賀市くらしのガイドブックの発行について（資料No.1）

市役所での手続きや地域情報・生活情報をまとめた伊賀市くらしのガイドブックが完成いたしましたので、発表させていただきます。

このガイドブックは、伊賀市と株式会社サイネックスとの協働事業で作成したもので、伊賀市が行政情報を提供し、株式会社サイネックスが広告を集め、その広告料で印刷製本・配布を行うものです。

配布期間は、明日1月5日から31日までで、伊賀市内の全世帯に配布する予定です。

このガイドブック発刊の趣旨にご賛同いただいた事業者の皆様にお礼申し上げますとともに、市民の皆様には、様々な折にご活用いただきたいと思います。

(3) 台湾台東県とのMOU締結と高雄市政府へのトップセールスについて（資料No.2）

1月21日に、伊賀市と台湾台東県との間で「自治体間連携に関する覚書」(MOUと言います。メモランダム オブ アンダースタANDINGの略)を締結するため、台湾を訪問することについてご報告させていただきます。

まず、経緯ですが、三重県では2012年から台湾と産業連携をすすめています。台湾台東県が三重県を訪問するに当たり、台東県の自然環境や地域資源など共通点が多いということで、三重県から伊賀市と志摩市への訪問の打診がありました。それを受けて、昨年6月9日に台東県副知事一行が伊賀市を訪問され、意見交換の中で、お互いの地域資源を活かした交流をすすめたいと台東県から提案がありました。

その後、台東県の意向を受けて、三重県からもMOU締結の積極的な提案があり、志摩市とともに前向きに検討する意向を伝えました。

その後、三重県より、1月に知事がトップセールスのため、香港・台湾を訪問するので、それにあわせて、MOUを締結してはどうか、との提案を受け、検討の結果、志摩市長とともに台東県を訪問し、知事立会いのもと、MOUを締結することになったものです。

MOUは、法的な義務などではなく、ゆるやかな交流や連携を確認する覚書で、台東県と締結するMOUの内容については、「地域特性や共通点を活かし、観光、農林水産業、文化、スポーツなどの分野で、伊賀市、志摩市、台東県が連携して地域振興に取り組む」といった内容や「地域資源を相互活用し、日本と台湾の観光地の魅力を発信する」という内容が盛り込まれる予定です。

今回の台湾訪問は1月20日から23日までの4日間の予定で、20日の夕方に台東県に入り、21日の午前中は台東県内の視察を行ない、午後からMOU締結式、台東県の黄(おう)県長(日本の知事に当たる人)などの政府関係者との意見交換を予定しております。

22日は台湾第2の都市である「高雄市」に移動します。高雄市に行く目的としては三重県と高雄市が締結するMOU締結式に同席し、高雄市長と意見交換を行なう予定です。

午後からは、海外への教育旅行、修学旅行に積極的に取り組んでいる高雄市教育部局に対して、忍者と海女の歴史と文化、農業、水産業の体験メニュー等を志摩市と協同でPRし、教育旅行誘致に関する意見交換を行ないます。

訪日外客数が350万人近い台湾の地域とMOUという関係を持つことで、台湾からの更なる誘客と相互連携による観光振興をはかることで、今後の伊賀市の地域活性化につなげていきたいと考えております。

2. 1月の主な行事予定

(1) 2016年1月 寺田市民館「じんけん」パネル展の開催について(資料No.3)

開催日時：平成28年1月5日(火)から27日(水)

午前8時30分から午後5時

開催場所：大山田農村環境改善センター1階ロビー

内 容：別紙のとおり

お問合せ先：人権生活環境部 寺田市民館（0595-23-8728）

(2) 平成 28 年伊賀市消防出初式の開催について（資料No.4）

開催日時：平成 28 年 1 月 9 日（土）

午前 9 時

開会式場：ゆめドームうえの 第 1 競技場及び周辺

内 容：通常点検、優良消防団員表彰、防火の誓い（幼年消防クラブ員）

分列行進・車輛観閲（ゆめドーム南側駐車場）

お問合せ先：消防本部 消防救急課（0595-24-9115）

(3) 平成 28 年成人式の開催について（資料No.5）

開催日時：平成 28 年 1 月 10 日（日）

受付 11 時

開 式：11 時 30 分から

場 所：

校 区	会 場
崇広中学校区	ハイトピア伊賀 5 階
城東中学校区	前田教育会館蕉門ホール
緑ヶ丘中学校区	ヒルホテルサンピア伊賀
上野南（旧成和・丸山）中学校区	ゆめぼりすセンター
柘植・霊峰中学校区	ふるさと会館いが
島ヶ原中学校区	島ヶ原温泉多目的ホール
阿山中学校区	あやま文化センター
大山田中学校区	どんぐりホール
青山中学校区	青山ホール

内 容：別紙のとおり

お問合せ先：教育委員会事務局 生涯学習課（0595-22-9679）

(4) 第 56 回伊賀地区駅伝競走大会（資料No.6）

開催日時：1 月 31 日（日）

開会式 午前 8 時 20 分～（ゆめドームうえの）

男子スタート 午前 10 時～、女子・中学男女スタート 午前 10 時 10 分～

閉会式 午後 0 時 45 分～

コース：男子 6 区間 23km、女子・中学男女 5 区間 13.2km

問合せ先：スポーツ振興課（0595-22-9635）

3. その他（主な質疑）

記者 （今回の成人式で市長が緑ヶ丘中学校区に参加することについて）市長の出身校は緑ヶ丘中学校ですか。緑ヶ丘中学校に行くのは何か意図がありますか。

市長 出身校です。どの学校区に行くかは順番で決めています。

記者 成人式に対しての見解をお願いします。

市長 新成人が地域で育てられたことに対して感謝することや、地域からは成人をお祝いする、地域の一員であることをしっかりと自覚してもらうための成人式ですので、地域で開催することが大事であると思います。

記者 去年は平穏でしたか。

市長 平穏です。祝うものと祝われるものの顔が見える式典が良いと思います。

記者 暮らしのガイドブックについて、過去直近のガイドブックはいつ発行されて、どのような規模で、予算はどのくらいかかっていたか。そして、全戸配布方法はどのようにされるのですか。また、今後の予定はどうですか。

担当課 過去実績は平成 19 年 10 月作成し、A4 版 50 ページ〈カラー9 ページ、2 色 41 ページ〉、36,000 部作成、全戸配布、予算は 5,972,400 円でした。
以前は行政情報だけでしたが、今回は地域情報と生活ガイド情報が含まれています。サイネックスは電話帳などを手がけているのでその手法で配布する予定です。今後の予定は新庁舎建設時に合わせて発行を予定しています。

記者 行政情報とは具体的に何ですか。

担当課 主に手続き関係についてのご案内となります。

記者 高雄市とは MOU を締結しますか。三重県とだけですか。

市長 高雄市では伊賀市は立ち会うだけですが、高雄市長と色々な話をしたいと思っています。また、伊賀市への教育旅行などの誘客の話を進めたい。

記者 教育部局での誘客とは修学旅行のことですか。

市長 そうです。熱心に取り組みされているようです。

記者 いがグリオもいきますか。

市長 グリオのマスコット人形を連れていきます。

記者 ウィッツ青山学園の学校法人化を目指すとのことですが、少なくとも 2 年間は必要とのことですが、学校への対応はどうしますか。

市長 在校生に困難や不利益がないように、しっかりと教育を受ける権利の保障をしなければならいので、そのために伊賀市として出来る事をしていきたいと考えています。

記者 問題が明るみになるまでの伊賀市としてチェック体制はどうでしたか。

市長 伊賀市教育委員会としてはやるべきことはしてきたと思いますし、問題点はどこにあるのかを認識した上で、審議会を通して改善勧告を出してきましたが、学校側は勧告の内容を履行されてこなかった。

記者 性的マイノリティーの人々に対して、パートナーシップ証明書を発行されるとのことですが、具体的にどのように進めていく予定ですか。

市長 問題がどこにあるのかをまず整理する必要があります。他自治体でできるのであれば伊賀市でもできるものと考えます。多様性のある社会を実現していくことが大事です。できることは何でも早く進めて行きたいです。

記者 証明書はどのように利用できますか。また、いつから実施予定ですか。

市長 病院の入院や賃貸住宅の入居時などで利用できるようにして、現在受けている不利益を解消し、自分らしく生きていける社会を実現することが大事です。時期は今年の4月実施を考えています。

記者 (職員に向けた年頭の挨拶で)伊賀市に交流の場がないとのことですが、何と何の交流がないと言われているのですか。

市長 世代間の交流の場です。若者や学生や高齢者も同じ場所に集って語り合えて、楽しく過ごせて、情報交換ができるような場が大事です。伊賀市にはそのような場がありません。将来に向けて活力を生み出す場所となると思います。交流の拠点、知の拠点など色々な表現の方法はあると思います。

記者 施設を設けるものですか。具体的にどこに作る予定ですか。

市長 交流スペースが必要です。1年365日夜遅くまで集える場所があればいいなと思います。新築しなくともいいし、場所としては市役所付近でいいと思います。

記者 青年会議所に市職員が参加する事業はどのようなものですか。

市長 市職員が青年会議所に参加して色々な市民の活力を生むお手伝いをして、市民の皆さんの考えることをフィードバックできるように、地域に飛び出す公務員としての事業です。

記者 子育て中のお母さんが自然の中で子育てできる場所とは具体的にどこですか。

市長 「子育て忍にんパーク」と名づけて上野南公園に開設したいと思います。緑に囲まれ広々とした公園内に忍者に関連した幼児向けの遊具を設置していきたいと考えています。

記者 伊勢志摩サミット関連で、伊賀市として何か考えていますか。

市長 サミットの恩恵を受けることができるのかを考えています。伊賀市として提供できるサービスの一覧を三重県に提出しています。また、伊勢志摩サミットクリーンキャンペーンが始まりますので、外国人が伊賀市庁舎を訪れた際にも恥ずかしくないように庁舎の手入れをする必要があると思います。

記者 今年の11月の市長選挙に対する考え方にこれまでと変わりはありませんか。

市長 変わりはありません。色々な報道がありますが、これまで積み上げたものを花開かせて、実を結ばせることが責任であると思っています。これは余人では出来ないとの自負を持っていますし、市民の皆さんへのお約束を果たすことであります。

記者 もう一期しないと形にならないということですか。

市長 しっかりと目配り、気配りをしていかなければなりません。今は胸突き八丁というところです。もし今市長が変わったら将来に禍根を残すことになると思います。今提案していることは将来の骨太の地域社会を作るためにどうしてもやらなければならないことです。そのためにより丁寧な説明を市民にしていかなければならないと思っています。

記者 7月の参議院選挙があり、安全保障法案が争点になるとありますが、誰かを応援

するなどありますか。

市長 市長として公私を分け難いので誰かを応援することはありません。今度の参議院選挙の着目点としては若年有権者が投票することになり、伊賀市では約 1700 人いますので、未来を生きる若年有権者がしっかりとした投票行動をしていただきたいし、投票することが大切なことであるとの認識を持っていただきたい。そのような呼びかけを行っていきたいと思います。